

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和2年6月18日(2020.6.18)

【公表番号】特表2019-516721(P2019-516721A)

【公表日】令和1年6月20日(2019.6.20)

【年通号数】公開・登録公報2019-023

【出願番号】特願2018-560613(P2018-560613)

【国際特許分類】

A 6 1 K	8/46	(2006.01)
A 6 1 Q	5/02	(2006.01)
A 6 1 Q	19/10	(2006.01)
A 6 1 Q	11/00	(2006.01)
A 6 1 Q	9/02	(2006.01)
C 1 1 D	1/28	(2006.01)
C 1 1 D	1/04	(2006.01)
C 1 1 D	3/04	(2006.01)
C 1 1 D	1/68	(2006.01)
C 1 1 D	1/90	(2006.01)
C 1 1 D	1/10	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	8/46
A 6 1 Q	5/02
A 6 1 Q	19/10
A 6 1 Q	11/00
A 6 1 Q	9/02
C 1 1 D	1/28
C 1 1 D	1/04
C 1 1 D	3/04
C 1 1 D	1/68
C 1 1 D	1/90
C 1 1 D	1/10

【手続補正書】

【提出日】令和2年5月8日(2020.5.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

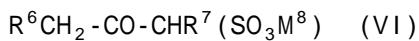
・一般式(I)

$R^1CH(SO_3M^1)COOM^2$ (I)

(式中、基R¹は、6~18個の炭素原子を有する直鎖状若しくは分枝状アルキル又はアルケニル基であり、基M¹及びM²は、互いに独立に、H、Li、Na、K、Ca/2、Mg/2、アンモニウム及びアルカノールアミンを含む群から選択される)

の1種以上の -スルホ脂肪酸二塩(A)、

・化合物(F)及び化合物(G)から選択される1種以上のスルホケトン(B)であって、化合物(F)が、一般式(VI)



(式中、基R⁶及びR⁷は、互いに独立に、6~18個の炭素原子を有する直鎖状又は分枝状アルキル基であり、基M⁸は、H、Li、Na、K、Ca/2、Mg/2、アンモニウム及びアルカノールアミンを含む群から選択される)

を有し、化合物(G)が、一般式(VII)



(式中、基R⁸及びR⁹は、互いに独立に、6~18個の炭素原子を有する直鎖状又は分枝状アルキル基であり、基M⁹及びM¹⁰は、互いに独立に、H、Li、Na、K、Ca/2、Mg/2、アンモニウム及びアルカノールアミンを含む群から選択される)

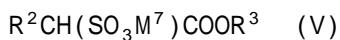
を有する、1種以上のスルホケトン(B)、並びに

・水

を含む水性界面活性剤組成物であって、以下の条件:

・化合物(A)の量が化合物(B)の量よりも大きい(いずれも全水性界面活性剤組成物に対する)、

・水性界面活性剤組成物が、一般式(V)



(式中、基R²は、6~18個の炭素原子を有する直鎖状若しくは分枝状アルキル又はアルケニル基であり、基R³は、1~20個の炭素原子を有する直鎖状若しくは分枝状アルキル又はアルケニル基であり、基R³は、必然的に、3個超の炭素原子のものだけアルケニル基であってよく又は分岐していてよく、基M⁷は、Li、Na、K、Ca/2、Mg/2、アンモニウム及びアルカノールアミンを含む群から選択される)

の1種以上のエステルスルホン酸塩(E)を含む場合、化合物(A)が、化合物(A)及び(E)の合計に対して50重量%以上の程度まで存在しなければならない

が適用される、前記水性界面活性剤組成物。

【請求項2】

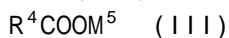
式(I)における基R¹が、10~16個の炭素原子を有する飽和直鎖状アルキル基であり、化合物(A)に関して、基R¹がデシル又はドデシル基である化合物(A)の割合が、化合物(A)の全量に対して90重量%以上である、請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

基M¹及びM²並びにまた基M⁸、M⁹及びM¹⁰が、H(水素)及びNa(ナトリウム)を含む群から選択される、請求項1又は2に記載の組成物。

【請求項4】

一般式(III)



(式中、基R⁴は、7~19個の炭素原子を有する直鎖状若しくは分枝状アルキル又はアルケニル基であり、基M⁵は、H、Li、Na、K、Ca/2、Mg/2、アンモニウム及びアルカノールアミンを含む群から選択される)

の1種以上の化合物(C)を追加的に含む、請求項1から3のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項5】

一般式(IV)



(式中、M⁶は、Li、Na、K、Ca/2、Mg/2、アンモニウム及びアルカノールアミンを含む群から選択される)

の1種以上の硫酸の無機塩(D)を追加的に含む、請求項1から4のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項6】

アルキルグリコシド(H1)、アミドアルキルベタイン(H2)及びN-アシルグルタミン酸化合物(H3)を含む群から選択される1種以上の化合物(H)を追加的に含む、請求項1から5のいずれか一項に記載の組成物であって、化合物(H)が以下:

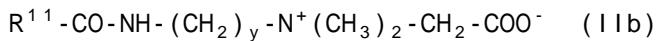
式(IIa)



(式中、 R^2 は、8~18個の炭素原子を有するアルキル及び/又はアルケニル基であり、 G は、5又は6個の炭素原子を有する糖残基であり、 p は、1~10の数である)

による化合物(H1)であって、化合物(H1)に関して、基 R^2 が15個以上の炭素原子を有するアルキル又はアルケニル基である化合物(H1)の割合が、水性界面活性剤組成物中の化合物(H1)の全量に対して5重量%以下であるというさらなる条件が適用され、

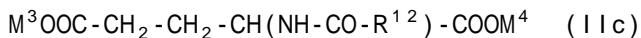
化合物(H2)が、式(IIb)



(式中、基 R^{11} は、7~19個の炭素原子を有する直鎖状若しくは分枝状アルキル又はアルケニル基であり、添え字 y は2~4の範囲の整数である)

を特徴とし、基 R^2 がアルケニル基である化合物(H2)の割合が、水性界面活性剤組成物中の化合物(H2)の全量に対して3重量%以下であるという条件が適用され、

式(IIc)



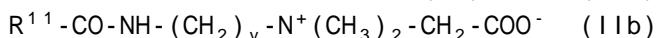
(式中、基 R^{12} は、7~19個の炭素原子を有する直鎖状若しくは分枝状アルキル又はアルケニル基であり、基 M^3 及び M^4 は、互いに独立に、H、Li、Na、K、Ca/2、Mg/2、アンモニウム及びアルカノールアミンを含む群から選択される)

による化合物(H3)

を特徴とする、前記組成物。

【請求項 7】

1種以上のアミドアルキルベタイン(H2)を追加的に含む、請求項1から5のいずれか一項に記載の組成物であって、化合物(H2)が、式(IIb)



(式中、基 R^{11} は、7~19個の炭素原子を有する直鎖状若しくは分枝状アルキル又はアルケニル基であり、添え字 y は2~4の範囲の整数である)

を特徴とし、基 R^2 がアルケニル基である化合物(H2)の割合が、水性界面活性剤組成物中の化合物(H2)の全量に対して3重量%以下であるという条件が適用される、前記組成物。

【請求項 8】

化粧品のための並びにまた洗剤及び洗浄剤のための、請求項1から7のいずれか一項に記載の組成物の使用。

【請求項 9】

毛髪用シャンプー、シャワー用ジェル、せっけん、合成洗剤、ウォッシングペースト、ウォッシングローション、スクラブ製剤、フォームバス、オイルバス、シャワーバス、シェービングフォーム、シェービングローション、シェービングクリーム及びデンタルケア製品の形態の化粧品のための、請求項1から7のいずれか一項に記載の組成物の使用。

【請求項 10】

硬質表面を清浄化するための低いpHを有する製品、例えば、浴槽及びトイレ洗浄剤などのための、並びにまた、衛生設備において使用するための洗浄及び/又はフレグランスゲルのための、請求項1から7のいずれか一項に記載の組成物の使用。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

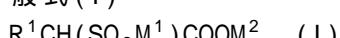
【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

本発明は、最初に、

・一般式(I)

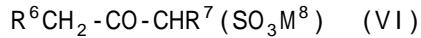


(式中、基 R^1 は、6~18個の炭素原子を有する直鎖状若しくは分枝状アルキル又はアルケニル基であり、基 M^1 及び M^2 は、互いに独立に、H、Li、Na、K、Ca/2、Mg/2、アンモニウム及

びアルカノールアミンを含む群から選択される)

の1種以上の -スルホ脂肪酸二塩(A)、

・化合物(F)及び化合物(G)から選択される1種以上のスルホケトン(B)であって、化合物(F)が、一般式(VI)



(式中、基R⁶及びR⁷は、互いに独立に、6~18個の炭素原子を有する直鎖状又は分枝状アルキル基であり、基M⁸は、H、Li、Na、K、Ca/2、Mg/2、アンモニウム及びアルカノールアミンを含む群から選択される)

を有し、化合物(G)が、一般式(VII)



(式中、基R⁸及びR⁹は、互いに独立に、6~18個の炭素原子を有する直鎖状又は分枝状アルキル基であり、基M⁹及びM¹⁰は、互いに独立に、H、Li、Na、K、Ca/2、Mg/2、アンモニウム及びアルカノールアミンを含む群から選択される)

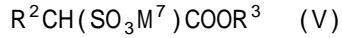
を有する、1種以上のスルホケトン(B)、並びに

・水

を含む水性界面活性剤組成物であって、以下の条件:

・化合物(A)の量が化合物(B)の量よりも大きい(いずれも全水性界面活性剤組成物に対する)、

・水性界面活性剤組成物が、一般式(V)



(式中、基R²は、6~18個の炭素原子を有する直鎖状若しくは分枝状アルキル又はアルケニル基であり、基R³は、1~20個の炭素原子を有する直鎖状若しくは分枝状アルキル又はアルケニル基であり、基R³は、必然的に、3個超の炭素原子のものだけアルケニル基であってよく又は分岐していてよく、基M⁷は、Li、Na、K、Ca/2、Mg/2、アンモニウム及びアルカノールアミンを含む群から選択される)

の1種以上のエステルスルホン酸塩(E)を含む場合、化合物(A)が、化合物(A)及び(E)の合計に対して50重量%以上の程度まで、特に90重量%以上の程度まで存在しなければならないが適用される、水性界面活性剤組成物を提供する。